

## 第 51 回（令和 7 年度）大会以降の堺市民オリンピックの方向性について

### 【第 51 回（令和 7 年度）大会以降の方向性について】

第 48 回（令和 4 年度）大会開催後に、各校区を対象として実施させていただきました「堺市民オリンピックに関するアンケート」において、第 51 回以降の大会の方向性について「小学校区対抗の競技大会を継続する」と回答した割合が 76.3%と多数であったことを踏まえ、堺市民オリンピックの参加者増に向けた次の取組を行いながら、第 51 回大会以降についても引き続き校区対抗の競技大会を継続します。

### 【今後の取組内容】

#### (1) 競技種目の追加

新たな大会参加者獲得のため、性別や年代によって競技レベルが規定されておらず、気軽に参加することができるディスコン（ニュースポーツ）を新規種目として採用する方向で進めます。なお、採用にあたってはプレ大会の実施など複数年をかけて検証を行い、第 54 回大会（令和 10 年度）の正式採用をめざします。

#### (2) 参加条件の緩和

競技種目（ソフトボール、バレーボール、卓球、陸上、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ）において、人数不足によりチーム編成ができない校区でも参加できる仕組みとして、第 51 回大会から人数不足の校区同士に限り合同チームの編成を容認します。

#### (3) 体験イベントの内容充実

大会で使用していない体育館でスポーツ体験イベント等を開催いただけるよう指定管理者と調整し、第 51 回大会以降、スポーツの日は堺市民オリンピックを含め市全域でスポーツに親しむ機会を提供します。

※詳細につきましては、今後、堺市民オリンピック委員会や同実行委員会において議論を継続し、内容が固まりましたら改めて校区代表者の皆様にお知らせいたします。